

こうした世界に向って、躍進の基礎を築いた一人が「朝河貫一博士」であり、大きな存在となっているのです。

二本松市では、この偉大な歴史学者である彼の功績を称え、継続的、普遍的に顕彰を図る目的で、数年前から、いくつかの顕彰事業を計画し実施してきましたが、その一つとして、昭和63年に二本松青年会議所が「朝河貫一メモリアルスピーチコンテスト」を行い、入賞者を彼が学んだダートマス大学、イェール大学の両校への訪問研修が行われたのを機会に、二本松市においても、平成3年から毎年、中高校生を対象に、国際的視野に立った広いものの見方を身につけさせ、彼の学問的業績と人間的な魅力に関心を持つよう、両大学を訪問する海外研修を実施してきております。

このような実績をもとにして、平成11年7月30日（日本時間31日）には、二本松市とアメリカ合衆国ニューハンプシャー州ハノーバー町との『友好都市提携』調印式がハノーバー町にあるダートマス大学で行われ、本市からは市長はじめ市議会副議長や「市民の翼」中・高校生団員など多数の方が出席しました。

今後、各関係機関、団体の方々や研究会等多くの人達が、それぞれの立場で、人間朝河を「知」ろうと努力し、また「精進」することによって、第2の「朝河貫一」が誕生する可能性に大きな期待を込め、郷土が生んだ偉大な世界的歴史学者朝河貫一の「ともしび」を今後、ますます大きなものにしたいものです。



博士追悼大講演会記念  
(二本松小学校校舎正面玄関にて)